

For Immediate Release

Contact:

バークレイズ証券株式会社
広報部 中田 咲
03 4530 5623
emi.nakata@barclays.com

バークレイズ証券、15 件目の再生可能エネルギー プロジェクトボンドを新組成

プロジェクトボンドを追加発行できる仕組みを採用
引き続き日本のグリーンファイナンス市場拡大に貢献

東京 2023 年 8 月 31 日 – バークレイズ証券株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:木曾 健太郎)は本日、リニューアブル・ジャパン株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:真邊 勝仁)により管理・運営される全国 15 都道府県に分散された 24 の太陽光発電所のポートフォリオを裏付とした 178.3 億円の再生可能エネルギープロジェクトボンドを新たに組成しました。当社がアレンジした再生可能エネルギープロジェクトボンドとしては 2022 年 12 月に続いて 15 件目となり、2017 年の第 1 号案件以降累計の発行総額は 1,446 億円となりました。

本案件は、格付投資情報センター(R&I)より最上位の評価であるグリーンボンド格付 GA1 と、グリーンボンド原則等への適合性に関してセカンドオピニオンを獲得しており、プロジェクトファイナンス形式で発行されたグリーンボンド及びグリーンローンです。またリニューアブル・ジャパン株式会社にとっては 13 件目のプロジェクトボンド発行(累積 1,284 億円)となります。

バークレイズ証券の投資銀行部門ストラクチャード・ファイナンス部長、上田 輝久は、「前回債から採用した AfterFIT 運営を考慮したファイナンスである点に加え、新たな試みとして、初回のプロジェクトボンドを発行した後、プロジェクトを追加購入し裏付資産に加えることで、プロジェクトボンドを追加発行できるアコーディオン型ファイナンスを採用しました。プロジェクトの追加により分散効果が高まり、これまで組成費用がネックとなってそれ単体では組成が難しかった数億円の小規模プロジェクトをプロジェクトボンドの対象資産として取り込むことが可能となります。当社は引き続き、事業者と投資家のニーズに応えるとともに、日本のグリーンファイナンス市場の拡大に尽力してまいります」と述べています。

本取引の概要

名称	RJ 再生可能エネルギープロジェクトボンド XIII 受益権 /ABL
発行金額(初回)	17,830,000,000 円 受益権 (GB): 11,330,000,000 円 ABL (GL): 6,500,000,000 円
追加発行枠	3,500,000,000 円
発行日	2023/8/31
最終償還日	2048/9/20
受託者	三菱 HC キャピタル信託株式会社

本取引の対象事業

スポンサー	リニューアブル・ジャパン株式会社
所在地	全国 15 都道府県 24 物件
事業規模	合計 52.3 MW(モジュール規模)
年間 CO2 排出削減量	約 26,651 トン

パークレイズについて

パークレイズは、英国を本拠とするユニバーサル・バンク(総合的な金融機関)です。多様なビジネスとさまざまな種類の顧客を持ち、世界各地でビジネスを展開しています。世界中で個人向け銀行業務や各種支払いサービスを提供するほか、フルサービスの法人向け銀行業務および投資銀行業務を提供する世界有数の金融機関です。これらパークレイズのビジネスはすべて、テクノロジー、オペレーション、事務管理などのサービスをグループ全体に提供するサービスカンパニーによって支えられています。パークレイズについての詳細は、グループのウェブサイト home.barclays.com をご覧ください。

パークレイズのコーポレート&インベストメント・バンクについて

パークレイズのコーポレート&インベストメント・バンクは、投資銀行部門、国際コーポレート・バンキング部門、グローバル・マーケッツ部門およびリサーチ部門で構成されています。資産運用会社、金融機関、政府や公的機関、事業会社などのお客様に対し、資金調達や融資、戦略上およびリスク管理上のニーズにお応えするサービスやアドバイスを提供しています。パークレイズのコーポレート&インベストメント・バンクの詳細については、当社のウェブサイト cib.barclays をご覧ください。

また、日本におけるパークレイズについてはbarclays.co.jp をご覧ください。